

西陵中学校だより

平成23年6月20日(月)

23年度 第7号

学校 HP アドレス <http://www.yokkaichi.ed.jp/seiryo>

学校づくり協力者会議が開催されました。

去る6月8日(水)、夜7時より本校校長室にて本年度、第1回目の学校づくり協力者会議が行われました。学校評議員4名を含む6名の方にお世話いただきます。1回目の会議においては昨年度の本校の取り組み状況と本年度の方針について学校長から説明させていただきました。昨年度の取り組みで弱い点については本年度の課題として新たに取り組む所存でございます。併せて、子どもたちの様子、学校運営等についてご意見をいただき、今後に活かすべくいろいろと有意義な時間を持つことができました。

今後も学校評価等で、いろいろな面からご指導を賜る予定です。協力者会議委員の皆様におかれましてはご多用とは存じますが、よろしくご指導、お願い致します。

(保護者の皆様へ)

修学旅行、ご心配をおかけしましたが、無事終えることができました。

東日本大震災の影響で、5月に予定しておりました修学旅行も行き先変更を余儀なくされ、広島、岡山神戸に急遽変更となりました。東京方面での活動を前提に今まで準備してきた子どもたちでしたが目的地が変わるや、すぐ照準を切り替え、自分たちがしなければならないことを黙々とこなしてくれました。平和記念公園「原爆の子の像」前で行う「平和セレモニー」で寄贈する千羽鶴も分担して、一生懸命折って準備してくれました。出発前日も、朝早くから大きな荷物を持って登校し、体育館で念入りに最終の打ち合わせ、ホームでの乗り降りを想定し、コーンを新幹線の乗車口分の広さで置き、乗車隊形に並びすばやく乗車する練習等、本当に真剣に取り組んでいる姿は印象的でした。旅行先ではどうだったのか、裏面に掲載させていただきます。

7月の主な学校行事

- 7/ 1 (金) 家庭教育講座(本校PC室、19時～)
- 7/ 6 (水) 部活なし
- 7/13 (水) 保護者会(2,3年) パン注文有 1年のみ給食有
- 7/14 (木) 保護者会(全学年) パン注文有
- 7/15 (金) 保護者会(全学年)・壮行会(3限目) パン注文有
- 7/18 (月) 海の日
- 7/19 (火) 大掃除・教室ワックスがけ
- 7/20 (水) 終業式・廊下ワックスがけ パン注文なし
- 7/21 (木)～23(土) 中体連三泗地区予選大会
- 7/26 (火)～27(水) 地区懇談会
- 7/28(木)～8/1(月) 中体連県大会



修学旅行、ヒロシマで平和学習を行いました。

天気に恵まれ、修学旅行1日目、宮島厳島神社を経て、広島市の平和記念公園に着いたのは午後5時前でした。「原爆の子の像」の前で「平和セレモニー」を行い、みんなで一生懸命折った千羽鶴を寄贈しました。

平和祈念セレモニー ヒロシマを知ることは 未来を考えること

～何を学び、何を感じ、どう行動すべきか～

以下の流れの中で、セレモニーは行われました。

① 整列

誓いの言葉より(抜粋)

② はじめの言葉

③ 誓いの言葉

④ 黙とう

⑤ 千羽鶴寄贈

⑥ おわりの言葉



3月11日に東日本を襲った大地震。その影響もあり、私たちは、修学旅行で広島、そしてこの平和記念公園、原爆資料館、原爆ドームを訪れる機会を得ました。それにあたって、短い時間でしたが、平和学習を行ってきました。学習の中で、原爆の威力や恐ろしさ、それによって戦争に関係のない多くの人々が無差別に殺されたことを知り、おかしいと思いました。

また、私たちは戦争を体験したことはないけれど、私たちが生まれる前に、とても悲しく、残酷な戦いがあったということもわかりました。今、日本は戦争はしていませんが、世界のどこかで起こっています。そして、核兵器がまだまだ数多く存在するという悲しい現実があります。残念ながら、世界の平和実現には程遠いように思います。この問題は武力では解決しません。全世界が平和を願い、求めて1つになることが大切だと思います。

(中略)

平和とは一体何かを考えたとき、身近なところで起こっているいじめや差別、ケンカなどをなくすることが平和につながっていくような気がします。そしてみんなが本気で平和を願い、祈ることで一人ひとりの普段の行動が少しずつでも変わっていくと思います。

戦争は天災ではなく、人災です。平和になってほしい、戦争をなくしてほしい、ではなく、自分たち自身で戦争をなくし、平和を作っていくのです。そのためにも、私たちは今回の平和学習や見学で学んだ事を決して無駄にすることなく何か自分に出来ることを見つけ、少しずつでも実行していきたいと思います。

2011年6月13日

三重県四日市市立西陵中学校
第3学年 77名

代表 水谷麻紀、田中玲名

限られた時間ではありましたが、再度、ヒロシマを学び知ること子どもたちは原爆の脅威と戦争の不条理を再認識することができました。原爆資料館で一人ひとりが真剣に“事実”と向き合い、自身の未来について考えることができたのではないかと考えます。



(余談になりますが・・・)

本校生徒が平和記念資料館を視察しているとき、その様子をみていた同資料館の警備員の方が本校職員に「どちらからいらしたのですか。」と声をかけられました。「生徒さんたちがあまりにも熱心に学習されていたもので。とても嬉しく思います。」とお褒めの言葉を戴きました。そのような形で言って戴いたのは嬉しいことですし、先にも触れたように今後3年生にとって核の問題を深く考えるきっかけにしてくれるとともに、過ちを二度と繰り返さないためにも、心に刻み付けてくれたらと心より願います。